

科目ナンバー： MmC3081

授業コード： 6630301000

講義科目名称： 助産診断・技術学演習IV（新生児・乳児期）

英文科目名称： Practice in Midwifery Diagnosis and SkillsIV
(Newborn and Infant Period)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、八巻ちひろ、五十畑麻奈美、塚田文枝、倉辻言			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎増澤 祐子 八巻 ちひろ 五十畑 麻奈美 塚田 文枝 倉辻 言	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 新潟県立中央病院	【研究室】 311 309 共同研究室 2 共同研究室 2	【メールアドレス】 masuzawa@niigata-cn.ac.jp cyamaki@niigata-cn.ac.jp isohata@niigata-cn.ac.jp ftsukada@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究 CNS 助産	◎	○	

到達目標	1. 新生児期の助産診断に必要な知識を活用し、助産過程の展開ができる 2. 乳児期の助産診断に必要な観察項目を理解し、アセスメントすることができる 3. 新生児期、乳児期の正常からの逸脱、ハイリスク状態をアセスメントすることができる 4. 新生児、乳児に必要な助産技術をシミュレーションを通して実施する
------	--

授業概要	新生児の生理的变化と健康状態の診断、および乳幼児期の成長・発達の特徴と発達の過程を理解し、助産過程を展開するために必要な知識・技術を修得する。また、新生児の異常・救急蘇生の知識・技術を修得する。さらに、乳児の健康診査、離乳・卒乳の支援について学ぶ。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：新生児のアセスメントとケア 学修内容：新生児の適応生理と発達課題 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期【新生児の胎外生活への適応診断とケア】に取り組む（特に1. 2. 3）（30分） 事後学修：講義の復習（30分） 備考：八巻
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：出生後24時間以内の新生児のアセスメントとケア 学修内容：出生前に行う新生児の状態予測と準備、出生直後の胎外環境適応状態の評価と支援、異常の早期発見と支援、成長発達の評価と支援 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期【新生児の胎外生活への適応診断とケア】4 1) . 2) に取り組む（30分） 事後学修：講義の復習（30分） 備考：増澤
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：早期新生児（生後7日目まで）のアセスメントとケア 学修内容：胎外環境適応状態の評価と支援、成長発達の評価と支援 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期【新生児の胎外生活への適応診断とケア】4 1) . 2) 、6、7に取り組む（30分） 事後学修：講義の復習（30分） 備考：塚田
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：退院から4か月までの新生児・乳児のアセスメントとケア 学修内容：環境への適応状態の評価と支援、成長発達の評価と支援、養育環境の評価と支援 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期【新生児の胎外生活への適応診断とケア】4 4) 、VI 乳幼児期 に取り組む（30分） 事後学修：講義の復習（30分）

5	備考：五十畑 授業内容 授業形態：講義 学修課題：新生児の正常からの逸脱及び異常な症状・状態の診断（1） 学修内容：小児科医師による講義 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期 【新生児期の異常】1 に取り組む(30分) 事後学修：講義の復習（30分） 備考：倉辻
6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：新生児の正常からの逸脱及び異常な症状・状態の診断（2） 学修内容：小児科医師による講義 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期 【新生児期の異常】1 に取り組む(30分) 事後学修：講義の復習（30分） 備考：倉辻
7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：低出生体重児・早産児の疾患の病態と診断（1） 学修内容：小児科医師による講義 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期 【新生児期の異常】2, 3 に取り組む(30分) 事後学修：講義の復習（30分） 備考：倉辻
8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：低出生体重児・早産児の疾患の病態と診断（2） 学修内容：小児科医師による講義 事前学修：助産学ワークブック V 新生児期 【新生児期の異常】2, 3 に取り組む(30分) 事後学修：講義の復習（30分） 備考：倉辻
9	授業内容 授業形態：演習 学修課題：事例を用いた新生児の助産過程の展開（1） 学修内容：教育用カルテMedi-Eyeの模擬事例を用いて①出生直後から24時間以内②生後1日目から退院まで③1か月健診から3-4か月健診までの3時点における助産過程を展開する 事前学修：第2回から第4回の講義内容を復習する。Medi-Eyeにアクセスし事例を読む(30分) 事後学修：アセスメントとケアを修正する(30分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田
10	授業内容 授業形態：演習 学修課題：事例を用いた新生児の助産過程の展開（2） 学修内容：教育用カルテMedi-Eyeの模擬事例を用いて①出生直後から24時間以内②生後1日目から退院まで③1か月健診から3-4か月健診までの3時点における助産過程を展開する 事前学修：第2回から第4回の講義内容を復習する。Medi-Eyeにアクセスし事例を読む(30分) 事後学修：アセスメントとケアを修正する(30分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田
11	授業内容 授業形態：演習 学修課題：新生児のフィジカルアセスメントに必要な観察技術および清潔ケア（1） 学修内容：新生児の系統的観察場面のシミュレーション、新生児のバイタルサイン測定、沐浴の技術チェック 事前学修：テキストや動画を参考にし、新生児の観察技術の手順や手技を確認・自己練習する(30分) 事後学修：演習内容の復習(30分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田
12	授業内容 授業形態：演習 学修課題：新生児のフィジカルアセスメントに必要な観察技術および清潔ケア（2） 学修内容：新生児の系統的観察場面のシミュレーション、新生児のバイタルサイン測定、沐浴の技術チェック 事前学修：テキストや動画を参考にし、新生児の観察技術の手順や手技を確認・自己練習する(30分) 事後学修：演習内容の復習(30分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田
13	授業内容 授業形態：演習 学修課題：新生児・乳児の健康診査における観察とケア（1） 学修内容：1か月健診における身体計測と保健指導のシミュレーション 事前学修：テキストや動画を参考にし、観察技術の手順や手技を確認・自己練習する（30分） 事後学修：演習内容の復習（30分） 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田
14	授業内容 授業形態：演習 学修課題：新生児・乳児の健康診査における観察とケア（2） 学修内容：1か月健診における身体計測と保健指導のシミュレーション 事前学修：テキストや動画を参考にし、観察技術の手順や手技を確認・自己練習する（30分） 事後学修：演習内容の復習（30分） 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田

	15	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習（発表）</p> <p>学修課題：新生児期・乳幼児期のアセスメントとケアのまとめ</p> <p>学修内容：模擬事例における助産過程の展開のまとめと対象者に必要な保健指導についての学生プレゼン</p> <p>事前学修：9-10回目で取り組んだ助産過程の展開の提出後、教員からのコメントを基に修正（30分）</p> <p>事後学修：保健指導内容を修正する（30分）</p> <p>備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
事前・事後学習		
評価方法、評価基準		到達目標 1～4に対して、筆記試験60%、課題（助産過程の展開）20%、技術演習20%によって評価する。
テキスト		指定はしないが、参考図書より必要なテキストを準備すること。
参考図書・資料等		<p>石井邦子他（2021）：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期，医学書院.</p> <p>江藤宏美（編）（2026）：助産師基礎教育テキスト2026年版 第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア，日本看護協会出版会.</p> <p>小林康江（編）（2026）：助産師基礎教育テキスト2026年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア，日本看護協会出版会.</p> <p>仁志田博司（2024）：新生児学入門 第6版，医学書院.</p> <p>北川真理子他（2019）：今日の助産（改訂第4版）—マタニティサイクルの助産診断・実践過程，南江堂.</p> <p>日本産婦人科学会/日本産婦人科医会（2023）：産婦人科診療ガイドライン 産科編2023，日本産科婦人科学会.</p> <p>石村由利子（編）（2020）：根拠と事故予防からみた母性看護学技術，第3版，医学書院.</p> <p>医療情報科学研究所（編）（2018）：病気がみえるVol.10 産科 第4版，メディックメディア.</p> <p>横尾京子（2011）：新生児ベーシックケア家族中心のケア理念をもとに，医学書院.</p>
受講、課題、資料配布等のルール		<p>助産学ワークブックを活用した事前学習を行って授業に臨むこと。</p> <p>授業には積極的に参加して主体的に学修する姿勢で臨むこと。</p> <p>※授業内で教育用カルテMedi-Eyeを使用する。</p> <p>※講義資料はでどこカレにPDFで配布する。</p>
教員からのメッセージ		本科目は助産学実習前提科目であることを意識して授業に臨むこと。
オフィスアワー		在室時、可能な限り対応する。